

研究叢書の刊行に寄せて

東京経済大学では2000年5月に学術研究センターを設立し、学内の研究支援、学外機関との共同研究の促進、外部研究資金導入の基盤形成等に努めてきました。当初、センターの活動成果は、年度ごとに刊行される学術研究センター年報（2000年度第1号～2012年度第13号）を通じて公表されていましたが、2013年度以降は時代の趨勢に鑑み、ウェブ上での成果発表の形式に移行し、今日に至っています。しかし、学術研究センターが支援する国際的、学際的な共同研究やシンポジウムには、その成果を学術的な出版物として残しておくべき成果も少なくありません。そこで今後は、ウェブ上での活動成果公表と並んで、優れた研究成果については「学術研究センター研究叢書」として逐次刊行していく予定です。本号は、30年間にわたる本学と対外経済貿易大学（北京）との学術交流を記念して、学術研究センター年報の特別号であると同時に、「研究叢書」の創刊号として刊行されました。

御寄稿いただいた皆様に感謝を捧げるとともに、引き続き、当センターの活動へのご理解、ご協力をお願いする所存です。

2018年2月15日
学術研究センター長
経済学部教授 鈴木 直